

**先**日、福島に行った際に安達太良山に登りました。登山初心者でも簡単に登れるとWebサイトで紹介されていたため、高尾山程度の登山経験しかない私でも気軽に登れるかと思ったのですが、実際に登ってみると、手を使わないと登れない箇所がいくつかあり、想定よりも大分ハードでした。それでも何とか頂上に辿り着き、記念撮影を終えた私はすぐに下山しようと思ったのですが、当初考えていた、自家用車を駐車した登山口までの下山ルートが良く分からず、どうしたものかと考えていたところ、尾根伝いに歩いていく他の登山者達の姿が見えました。それでああこれが下山ルートかと深く考えず、彼らの後をついて行ってしまいました。尾根伝いを歩く際は、かなり難儀しました。普段であれば問題ないのですが、その日はリフトが営業停止になるほどの強風です。しかも道幅は1mしかなく、足を踏み外せば、転げ落ちてしまいます。恐怖に陥りながら、それでも歩き続け、気が付くと別の山の頂上に。そこで初めてルートが間違っているのではないかと気がきました。しかし、地図も無く、自分がどのルートを通っているのか分かりません。その時ふと、道中スマホで地図を撮っていたことを思い出し確認すると、案の定、別のルートに入っていました。先に行く登山者はどうやら私が入山した登山口の反対側に向かっていました。その時点で日暮れまでの時間も無く、慌てて元来た道を引き返すはめになりましたが、スマホで地図を撮影していなかったらと思うと、身震いする思いです。(S.S)

**真**夏の暑い日が続いたかと思えば、一夜にして真冬の寒さに化けるなど、異常気象と言いたい日が続いていますが、この夏は暑さ真っ盛りの時に、20年近く働いてくれた寝室のエアコンが故障してしまいました。やむを得ず、新しいエアコンに買い替えたのですが、部屋の中の比較的高い位置に設置するようになっていたので、フィルターの掃除が大変だったため、完全自動でフィルター清掃ができるエアコンにしました。

清掃中の騒音は思った以上にうるさかったのですが、それを除けばなかなか有能で、使用中のスマホに専用アプリをインストールすると、Wi-Fi接続でエアコンの操作ができます。電源のオンオフだけでなく、本体のセンサと室外機のセンサのおかげで、室内温度と室外温度を確認でき、冷房・暖房だけでなく、除湿や衣類乾燥、送風から風向き、風力等まで、附属リモコンよりも細かく設定を選んで運転できます。

一度基本設定が済めば、スマホ側は同じWi-Fiネットワーク下になくても、キャリアの回線経由で操作できるため、帰宅途中、地元の駅に着いた時に室内の温度を確認して冷暖房を開始できます。IoTのおかげで、家電製品もずいぶん進化したものだと感心しました。こうした機能や使い方を目の当たりにすると、Wi-FiやIoTを駆使してもっといろいろなことに活用できないかと思えてきます。その機能に魅力があれば、次に買い替えるときも同じ後継機を選んでもらえるのですから。(Y.H)

### こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

Raisers第69巻第6号(通巻第751号) 2021年11月10日発行

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)